横浜市長選挙は原澤あつみ氏が当選
市民要求の実現・前進の活動を進めよう

横浜市・山中市長の辞職に伴う市長選挙が 10 月 24 日告示 10 月 18 日投開票にて行われました。当選は新人の原澤あつみ氏でした。この選挙の結果と今後の対応について示します。

１　各候補の得票数と主な応援団体など（得票順）

（１）原沢あつみ氏　552,207 票自民・公明・日本維新・国民民主、財界等。

（２）福山あつみ氏　230,418 票　参政党（３）山中竹春氏　199,746 票　後援会・港運協会・市民団体（４）中谷一馬氏　179,739 票　立憲民主党　（５）藤川さちこ氏　97,819 票　市民団体（６）あさか由香氏　89,052 票　共産党、後援会（７）　山本理顕氏　49,377 票　有志

２　投票動向について（神奈川新聞の出口調査など）

一番の関心は、パワハラ行為をどのように見るかが有権者の判断基準になっています。投票する際のパワハラ行為を重視したのかとの問いに「大いに」「ある程度」をあわせて 81.8％となり、このうち原澤氏を選んだのは 41.2％で、コンプライアンス問題に詳しい経歴などが得票数に反映されたと言えます。また、無党派層は原澤氏への投票は 35.1％、福山氏 16.4％、山中氏 15.4％、中谷氏 13.7％、藤川氏 8.6％、山本氏 5.9％、あさか氏 3.9％となり、原澤氏への集中度がわかります。

３　各候補の主な選挙政策と今後の課題などは

「パワハラ根絶」を掲げ、条例・規則の制定や「働きやすい職場環境」を全員が唱えています。「カジノ誘致」は全員「ない」としています。中学校給食の提供方法は、評価するが山中氏、自校方式は藤川・あさか氏、評価しないは福山・山本氏、改善は原澤・中谷氏です。デリバリー方式の変更なども求めていくことが必要です。

子ども子育て支援策などは全員が示しています。山下埠頭再開発など個別の問題での議論が不十分なことや、住民自治などは今後の課題となります。引き続き「カジノ反対」を求め、中学校給食の提供方法変更などを要求していくことや、市の事業・施策について公共を取り戻すことなど市民本位の市政へ前進を求めます。

市会第４回定例会のお知らせ！

日時　10 月 28 日～12 月 15 日
10 月 29 日・11 日 5 日 20 日
11 月 30 日 12 月 4 日 15 日（本会議予定）
＊問い合わせ　市議会局
電話　671－3044
＊共産党議員の発言は市議団事務局へ
電話 671－3032

市民の会ニュース
市民の市長をつくる会　254 号
横浜市中区桜木町３－９
平和と労働会館３階
電話・FAX　045－650－1896
メール　mail@y-simin.jp
発行責任者　菅野　隆雄
2026 年 10 月 30 日